

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) 倉敷化工株式会社		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒 712-8555 岡山県倉敷市連島町矢柄四の町4630	
本票作成	部署名： ISO事務局				
主たる業種	分類コード	19	業種名： ゴム製品製造業		
事業の概要	自動車用ゴム部品、産業用防振・防音・緩衝機器の製造販売 従業員数868名				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	本社工場		岡山県倉敷市連島町矢柄四の町4630	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kl以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO <sub>2</sub> 換算3,000t以上 (●工場等の数 1 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				
温室効果ガス排出量	基準年度(平成 29 年度)	(令和 2 )年度排出量		目標年度(令和 4 年度)	
	12,189 t CO <sub>2</sub>	8,906 t CO <sub>2</sub>		12,189 t CO <sub>2</sub>	
主な工場等の排出量	番号	工場等の名称		(令和 2 )年度排出量	
	①	本社工場		8,906 t CO <sub>2</sub>	
				t CO <sub>2</sub>	
				t CO <sub>2</sub>	
				t CO <sub>2</sub>	
削減目標の達成状況	計画期間：	平成 30 年度 ~ 令和 4 年度 ( 5 箇年度)			
	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	( 2 )年度削減実績	目標削減率	目標達成	
	<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準	11.1 %	5.0 %	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達	
(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 ゴム製造業なので、製造工程に原材料として使用する練りゴム使用量を用いた。	原単位当たり排出量			
		基準年度	( 2 )年度	目標年度	
		3.579 t CO <sub>2</sub> /( t )	3.181 t CO <sub>2</sub> /( t )	3.400 t CO <sub>2</sub> /( t )	
(該当事業者のみ記入)					
ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(令和 2 年度)	達成率等	

【削減状況の自己評価】

地道な削減活動により、基準年度に比べ絶対値、原単位のいずれも改善ができた。また、コロナの影響を受け、生産量減少によりゴム使用量も減少したが、それ以上にCO<sub>2</sub>の排出量を減らすことができた。原単位に於いても削減目標を達成した。

**【推進体制】**

- ・省エネ法に基づくエネルギー統括者を中心としたエネルギー管理体制のもと、手順書通りに進めてゆく。
- ・ISO14001に基づき、社長をトップとした環境管理体制の下、全社目的目標に省エネルギーを前面に押し出し環境改善をPDCAを回しながら推進して行く。
- ・前年までは、省エネを電力のみ目標値を設定していたが、今年からはCO2の排出量を目標値としている

**【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】**

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
本社工場	①省エネ機器の導入 ②蒸気利用を各設備に実施 ③換気扇の最適運転の実施

**【森林保全等吸収源対策への取組】**

県内での取組	無	
その他	無	

**【再生可能エネルギーの導入】**

県内での取組	無	
その他	無	

**【その他特記事項】**

冷房使用電力削減のため、全社でクールビズに取り組み実施。  
毎年、ライトダウンキャンペーンに参加している。  
CO2削減取組として、全社各部門に目標と削減アイテム抽出を施策として実施。  
倉敷化工が単独ではなくマツダグループ全体で国に準じた独自の目標を掲げて削減活動を行っている